

都留市この一年



2月の大雪では市内各所において市民の皆さんによる除雪や、帰宅困難者への対応ありがとうございました。



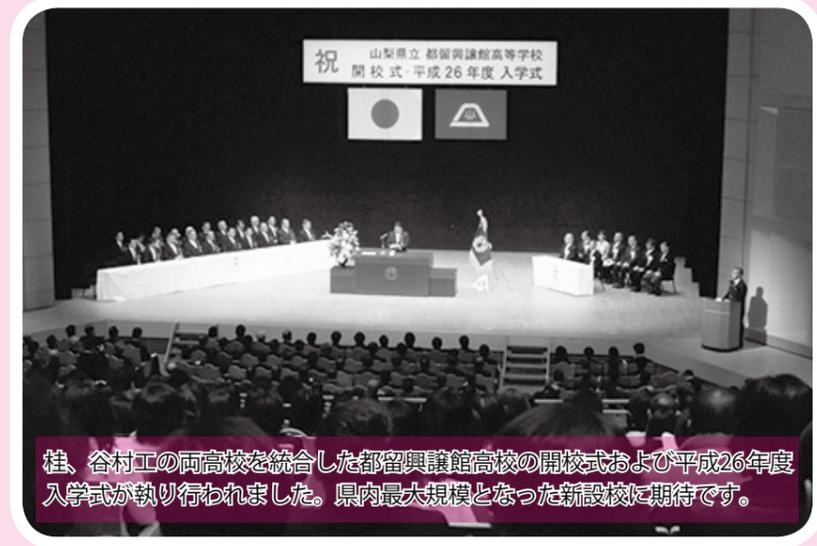
健康科学大学との看護学部開設に向けた締結式を行いました。地域経済の活性化・看護師確保などが期待されます。



市制60周年を記念して、記念式典を挙行了しました。当日は都留市ボランティアまつりと防災フェスティバルも開催され、多くの市民の皆さんにお集まりいただきました。



リニア見学センターがオープンしました。多くの観光客を市内に呼び込めるよう努めていきます。



桂、谷村工の両高校を統合した都留興譲館高校の開校式および平成26年度入学式が執り行われました。県内最大規模となった新設校に期待です。



農林業や環境保全活動に携わる方をお招きして、都留市の未来の姿について話し合う「環境未来都市シンポジウム in 都留」



都留市の「神楽」を全国にPRする映画を製作しています。この映画は市内出身の奥秋監督により手がけられており、四日市場神楽を題材として制作されています。普段、見慣れた風景が見られるかも？完成が待ち遠しいですね。



横浜国立大学が環境や災害、地域活性化などについて調査、研究するラボです。また市民交流の場としても活用する予定です。



市制60周年を記念した「都留市暮らしの便利帳」を発刊しました。ぜひ、ご活用ください。

都留市この一年

- 平成26年1月
 - お城山の桜の保存活動実施
 - 1日 元旦マラソン
 - 12日 第60回都留市成人式
- 2月
 - 15日 県内で1位を超える記録的な豪雪（14日）災害救助法が適用される
- 3月
 - 15日 環境未来都市シンポジウム in 都留
 - 20日 健康科学大学看護学部開設運営に係る事業契約締結式
 - 22日 都留文科大卒業式
 - 22日 市制60周年記念ミュージアム都留企画展「写真が伝える都留の思い出開催（5月6日まで）」
- 4月
 - 5日 都留文科大入学式
 - 7日 都留興譲館高等学校開校式・平成26年度入学式
 - 12日 春の全国交通安全運動に伴う交通パレード実施
 - 24日 リニア見学センターオープン
 - 29日 都留市制60周年記念式典・都留市ボランティアまつり・防災フェスティバル
 - ・横浜国立大学の「都留地域イノベーションラボ」が開所
- 5月
 - 17日 平成26年度のびのび興譲館開校式
 - 18日 第45回つる子どもまつり開催
 - 20日 市制60周年記念版「都留市暮らしの便利帳」調印式
- 6月
 - 31日 都留市制60周年記念 第21回都留市ふれあい全国俳句大会
- 7月
 - 1日 防災訓練実施（東桂地区）映画「かぐらめ」制作発表
 - 9日 家庭地域の教育力を高めるフォーラム
 - 4日 第46回都留市体育祭り
 - 5日 うぐいすホール野外ステージリニユーアルオープン
 - 12日 のびのび興譲館全体キャンプ（～20日）
 - 19日 大規模林野火災対応合同訓練実施
 - 22日 第10回都留市ジャパングラススキー大会（～24日）
 - 29日 都留市制60周年記念「しあわせのタネ」公演
 - 31日 総合防災訓練（宝地区）
- 8月
 - 2日 市制60周年記念版都留市暮らしの便利帳発刊
 - 1日 第32回ふるさと時代祭り
- 9月
 - 5日 都留市制60周年記念 第17回都留いきいきフェスティバル2014
 - 10日 桂・谷村工・都留興譲館合同競歩大会
 - 19日 第39回都留市消防団員総合訓練大会
 - 26日 つる産業まつり2014開催
- 10月
 - 5日 市民による事業評価・提案会（学生版）（～6日）
- 11月
 - 8日 秋の火災予防週間（防災パレード実施）
 - 14日 都留リーダーサミット開催

11月5日、6日の2日間にわたり、市役所大会議室において「市民による事業評価・提案会(学生版)」を実施しました。評価・提案会では、本市の既存の事務事業や市の取り組みについて、公募により選考された市内在住の学生と市職員がコーディネーターを交え議論を重ね、市事業の評価や提案発表を行いました。



今後は、協議の中で出された意見やアイデアを市政に反映させ、市民満足度の高い行政経営を目指していきます。
また、評価者として参加した学生の皆様に、市から「都留市まちづくり学生サポーター」として委嘱し、今後とも市の政策や事業などについての意見や提言をいただくとともに、イベント活動への参加などを通じて、地域や行政との協働のもとに、まちづくりの一端を担っていただきます。



■「都留市まちづくり学生サポーター」として地域活動など活躍していただけます。

○評価・提案会協議結果

協議対象の選定は、本市にインターンシップで訪れた大学生の意見を参考に、今後の事務事業の改善及び推進が図れることなどを基準に行い、次のような提案が出されました。

<p>◆協議内容：空き家の活用[定住人口対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用を市外からの移住者への定住に限定せず、市民に対する活用策の検討 ・空き家の補修費助成制度の創設 ・学生用シェアハウスとしての空き家の活用 など 	<p>◆協議内容：ゴミの適正な分別の促進[環境問題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの出し方を掲載した市HPの作成 ・チラシに写真を掲載し、さらに分かり易くする ・学生環境美化協力員の設置 ・引っ越しの時期にゴミの出し方の掲示 など
<p>◆協議内容：子育て世帯への定住対策[定住促進対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS (twitter など)によって制度を周知 ・学生子育て支援者の増加を目的とした、大学での子育て講座の開設 ・移住前及び移住後の市子育て支援体制について周知するチラシなどの作成及び配布 ・市で行う子育て講座の充実 など 	<p>◆協議内容：市内公共交通の利用促進[生活交通施策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスを活用したツアーパックの開設や子どもの絵を車内に掲載するなど、バスに付加価値を付ける ・就職活動や帰省など、季節便の設置 ・バス利用者にグッズなどを配布 ・バス停周辺地図情報の充実化 など

○コーディネーターの紹介



山口 博史さん
都留文科大学
COC推進機構准教授

評価・提案会に参加した感想
学生として議論に参加した今回の経験が、社会に出た後も生かされると思います。卒業までの間、学生サポーターとして市に貢献していきたいです。



松館 卓磨さん
都留文科大学 社会学科 4年
札幌市出身

評価・提案会に参加した感想
今まで都留市に住んでいて、これほど市について考えたことはありませんでした。市の政策について積極的に学んでいきたいと思いました。



渡辺 梓さん
山梨英和大学 人間文化学科 2年
小野出身

評価・提案会に参加した感想
地域課題を考える際、その背景を知ることが大切であることが分かりました。学生が地域に出ているような取り組みができれば良いと思います。



吉原 南海さん
都留文科大学 社会学科 3年
多摩市出身

評価・提案会に参加した感想
議論の参加は、課題に対する様々な視点に気が付くことができる機会となりました。学生として、市民として参加できたことに嬉しく思います。



渡邊 美香さん
都留文科大学 社会学科 4年
四日市場出身

COC推進機構では、既に大学で行われている地域に関する研究や大学内で行われている諸活動と、地域住民、地域の企業や諸機関、市行政の仲立ちを行うことを目指しています。

三重県鈴鹿市出身。三重大学、その後名古屋大学を卒業後、名古屋大学大学院環境学研究所にて博士(社会学)を取得。大学院在籍中から国際交流の現場で8年弱働いていたこともあり、大学院修了後、名古屋大学国際教育交流センター及び大学院情報科学研究科にて国際化推進教員として5年間勤務されました。国内での仕事とともに、ウズベキスタン、カザフスタン、ブラジル、中国、米国、ベルギーなどに出かけ、大学の学術面での国際交流推進や研究活動を行い、本年10月から公立大学法人都留文科大学COC推進機構※准教授として着任されました。

COC (Center of Community = 地(知)拠点) 推進機構とは

大学のあらゆる資産を地域社会の多様な分野で活用し、学生の主体的学びを通じて、地域社会との双方向の連携を進め、大学と地域社会との新たな発展を生み出していくことで地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

○学生評価者の紹介



岡本 周治さん
都留文科大学 社会学科 2年
南アルプス市出身

評価・提案会に参加した感想
提案会の参加によって、市の政策を知ることができました。今回の経験を生かし、自分が市に対して何ができるか考えていきたいと思っています。



加々美 汐里さん
都留文科大学 社会学科 3年
甲府市出身

評価・提案会に参加した感想
市の事業に学生が参加していくことの重要性に気付くことができました。今回の提案内容が市の施策に反映されると嬉しいです。

また、ご自身も市民の皆さまから実際にお話を伺っていかうと考え、特に今年2月の大雪に関しては、市民の経験談を伺い記録を作っていく活動に着手されたところです。
今後も市民とともに協働しながら、研究・教育と実践活動を結びつける活動を行っていくことのできることを目指しています。

近著
丹辺宣彦・岡村徹也・山口博史(編著)『豊田とトヨタ』(東信堂刊)